同行援護従業者養成研修」

一般課程・応用課程 講座のご案内

5月21日 (土) から【一般課程】 6月11日 (土) から (応用課程)

〈一般課程 〉平成28年5月21日(十)・22日(日)・29日(日)☆20時間 (3日間)

〈応用課程 〉 平成28年6月11日(十) · 6月 12日(日) ★12時間(2日間)

□ 定 員:20名

□受講料

一般課程 (20時間): 20,000円 (別途テキスト代 2,400円+消費税=24,192円) 但し、過去に視覚性ガイドヘルパー等を修得されている方は、一部の科目が免除されます

 \mathbf{X} 1) 一部科目免除の方: $\mathbf{10}$, $\mathbf{000}$ 円 (別途テキスト代 2,400円+消費税=13,392円)

応用課程(12時間): 20,000円 (別途テキスト代 2,400円+消費税= 24,192円)

注意:一般課程を修了していないと応用過程は受講できません

★一般・応用課程を同時に申し込むと!!

『一般・応用課程セット』:32,000円

(別途テキスト代 2,400円+消費税=37,152円)

※1) の方のセット料金 : 24,000円

(別途テキスト代 2,400円+消費税=28,512円)

〈注意〉

☑応用課程を受講するには、一般課程を修了していることが条件になります。 ☑介護福祉士、介護職員基礎研修、ホームヘルパー1・2・3級の資格を取得している方でも免除科目はありません。 ☑※1) 一部科目免除の詳細な要件は、裏面をご覧ください。

- □一般課程は、従業者要件を満たす資格 です
- 口応用課程は、サービス提供責任者としての要件を満たす資格になります

特に、平成30年度からは必須の資格になります

★申込締切は、各開講の1週間前まで、

資料請求・申込用紙はWEBまたは電話でお申し付けください。

申込・問合せ先(申込・資料請求・問合せ) お気軽にお問合わせください。

〒780-0806 高知県高知市知寄町1丁目8番11号 TEL: 088-855-7502 FAX: 088-855-7503

e-mail:n-fukusi@i-tosa.com 担当:滝浪(タキナミ)まで

同行援護従業者養成研修 カリキュラム

〈一般課程カリキュラム〉

| 日程 | 科目 | 時間 | 備考 |
|-----|----------------|----|-------------|
| 1日日 | 視覚障害者(児)福祉サービス | 1 | |
| | 同行援護の制度と従業員の業務 | 2 | |
| | 同行援護の基礎知識 | 2 | |
| | 基本技能 | 2 | |
| 2 日 | 障害・疾病の理解① | 2 | |
| | 障害者(児)の心理① | 1 | |
| | 情報支援と情報提供 | 2 | ※ 1) |
| | 代筆・代読の基礎知識 | 2 | ※ 1) |
| 3 日 | 基本技能 | 2 | |
| | 応用技能 | 4 | |

〈応用課程カリキュラム〉

| 日程 | 科目 | 時間 | 備考 |
|-------------|-------------|----|----|
| 1 日 目 | 障害・疾病の理解② | 1 | |
| | 障害者(児)の心理② | 1 | |
| | 場面別基本技能(実習) | 3 | |
| | 場面別応用技能(実習) | 1 | |
| 2 日 目 | 交通機関の利用 | 4 | |
| | 場面別応用技能(実習) | 2 | |

(使用テキスト: 「同行援護従業者養成研修テキスト第3版」中央法規出版)

備考欄※1)は、下記の方が対象に成ります。

※1)一部科目免除に成る方の要件

5月

日月月火

8

15 16 17

1 2 3

9 10

23 24

30 31

X1)

□一般課程の履修科目を免除することができる要件(高知県の規程)

①高知県ガイドヘルパー養成研修事業のうち「視覚障害者移動介護従業者養成研修課程」修了者 ②高知市居宅介護従業者養成研修事業のうち「視覚障害者移動介護従業者養成研修課程」修了者 ③高知市移動支援従業者養成研修事業のうち「視覚障害者移動支援従業者養成研修課程」修了者

上記①~③の要件を満たしている方は、一般課程の科目から一部履修免除になり

金土

13 14

20

一般課程の2日目午後/4時間のみの受講となります。

なお、4時間の科目は、上記のカリキュラムをご参照ください。

水

11 12

18 19

25 26 27

4 5 6 7

点くださ **6月**



〇一般

21

◎応用

■平成30年度から同行援護従事者の資格要件が変わります

I. サービス提供責任者 = (A) と (B) が必須となる

- (A) 以下の①から⑤の「いずれか」の資格要件を満たし
 - ①介護福祉士
 - ②介護職員実務者研修課程修了者

(介護職員基礎研修課程、ホームヘルパー1級)

③介護職員初任者研修課程修了者

(ホームヘルパー2級)

- ④居宅介護従業者養成研修課程修了者
- ⑤居宅介護従業者養成研修課程修了者で

『3年以上の介護等の実務のある者』※2)

※2)3年以上とは、具体的には従事期間が3年以上かつ 従事日数が540日以上のこと。

加えて

- (B) 以下の①**「または」**② の要件を満たす者
 - ①同行援護従業者養成研修修了者(一般課程及び応用課程)
 - ②厚生労働大臣が定める従業者(平成18年厚生労働省告示第556号)に 定める国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の 教科を履修した者又はこれに準ずる者

Ⅱ. 従業者

- 以下の①から③の「いずれか」を満たす
 - ①同行援護従業者養成研修修了者(一般課程)
 - ②居宅介護の従業者要件を満たす者であって、 視覚障害を有する身体障害者等の福祉に関する 事業(直接処遇職員に限る)に1年以上従事した 経験を有する者※3)
 - ③厚生労働大臣が定める従業者(平成18年厚生労働省告示第556号)に 定める国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の 教科を履修した者又はこれに準ずる者
- ※3) 1年以上とは、具体的には<u>従事期間が1年以上かつ</u> <u>従事日数が180日以上</u>のこと。

未来の介護リーダーを育てる

